

四季彩便り

2005.7月
創刊号

発行人
漢方四季彩堂
酒見 裕子
(092)927-2693

この度 サニーの改装に伴う当店の移動を機に、以前から構想していた中国医学を基盤とした店へと一新致しました。

「中国医学」とか言うとき堅苦しく難しい印象を持たれるかもしれませんが、要は「心身のバランスを立て直す」という考えに基づいていると思つて下さい。

表に現れている症状を一時的に改善させるのは西洋医学の得意分野ですが、何故その病気になったのか、原因をつきとめ、根本から立て直す方向へと導くのが中国医学であり、当店はその道案内役です。

漢方薬は高価だから・・・とか、長く飲まないと効かないのでは・・・?といった抵抗感や誤解があります。

健康に関する情報が氾濫する中で、正しい情報をきちんと伝えることが当店の役目だと考えています。毎日の食事、生活習慣などで気になることや疑問に思われている事などをお茶でも飲みながらお話しませんか？

みんな明るく元気に！ 私の願いです。

幸せとは、

心も体も

健康であること



折々の薬草

道端の見慣れた野草が実は薬に!!
身近な薬草(野草)を紹介します。

オオバコ(車前草)

どこでも見られる雑草で、根から引き抜くのが大変ですよね。遠い昔、この茎を絡めて草相撲をして遊んだのを昨日の事のように(?)思い出します。

若葉は天ぷらに、全草は民間療法として、咳止め・利尿・健胃整腸などに煎じてお茶代わりに、種子(シヤゼンシ)は膀胱炎などに使われる龍胆瀉肝湯や、腰痛に

使う牛車腎気丸といった処方に配合されています。

店内にも季節の野草を飾っていますので覗いてみて下さい。

伝統薬探訪

身体にやさしく穏やかな動き目の妙薬。

古くから家庭で飲み継がれてきた伝統薬の良さを見直してみよう。

「翁丸」

紀州・和歌山で千二百年もの昔に創られたこの薬、元々は胃腸薬なのに、飲むと気持ち安定し、自律神経失調などにもよく効くとの反響が製造元に寄せられているとのこと。

飲み続けると胃腸だけでなく心まで元気になるという不思議な、まさしく妙薬です。

イライラしなくなった、鬱のような症状がなくなった、飲むと気持ちがいいといった声が届いています。

実際 私もストレスによる(?)頭重に、飲んで二〇分程で頭がスッキリした経験があります。これはオドロキでした!!



四季の話題

日射病・熱中症

猛暑が続き、屋外だけでなく屋内でも熱中症で倒れる人が増えているとのこと。

体に潤いが保持できなくなっている高齢者や、真夏に台所で火の傍に居ることの多い主婦は要注意です。

汗をかいても放出しきれないほど体に熱がこもつて脱水症状を起こす可能性があります。体に水分を保ち、倒れないように予防するには生脈散(麦味参顆粒)が役立ちます。

・人参(ウコギ科コウライニンジン)元気を回復させます。

・麦門冬(バクモンドウ)体に水分を保ちます。

・五味子(ゴミシ)汗の出過ぎを抑え脱水を防ぎます。

屋外での作業・庭や畑の仕事・スポーツの前後に、高熱の後の脱水防止に、胃腸が弱って食欲がない時などに。

酷暑の夏を生脈散(麦味参顆粒)で元気に過さしましょう。

余談ですが、店内に飾っているヨウシュヤマゴボウ(野草)が水を吸い上げなくてシンナリしていたので、茎の断面に縦に切り込みを入れてみたのですが効果がイマイチ・・・

試しにこの麦味参顆粒を切り込み部分に塗ってみました。

なんと、見事に復活しましたよ。大成功!

